

令和6年度 第8回

日南市教育委員会

会議録

令和6年10月24日(木) 午後3時15分から
日南市役所別館2階会議室5

- 1 会議の名称 令和6年度教育委員会 第8回会議（定例）
- 2 会議日時 令和6年10月24日（木）
午後3時15分から午後5時00分まで
- 3 出欠確認
 - （1）出席委員 都甲政文、黒木由香、別府信一、八木真紀子、佐藤泰信
 - （2）事務局 教育部長兼学校教育課課長
学校教育課学校教育担当監
生涯学習課課長
学校教育課管理係長
学校教育課指導主事
学校教育課管理係主任主事
- 4 場所 日南市役所別館2階会議室5
- 5 傍聴者 1名
- 6 開会
【都甲教育長】
「それでは、令和6年度第8回日南市教育委員会定例会を始めさせていただきます。」
- 7 出席者及び傍聴者確認

【都甲教育長】
「出席者の確認をいたします。教育委員5名全員出席でございます。事務局の出席者の確認をお願いします。」

【鬼束部長】
「事務局は、重永課長が少々遅れての出席となります。」

【都甲教育長】
「本日傍聴者は1名ですね、よろしくお願いします。」
- 8 活動報告
 - （1）教育長活動報告

【都甲教育長】

・9月21日、これ牛ノ峠バイパスというものが三股とちょうど日南の間にありまして。もう20年ぐらい凍結されてまして、その工事がですね。毎年その決起集会みたいなものをして、都城日南三股のいろんな人が集まってやる。なんかやっぱ毎年やんなきゃいけないみたいですよ。忘れてないんだってことで、はい。ということです。

・それから9月24日。AIドリルですね、プロポーザル。この業者を決める、ものを決めるっていうことをですね、やりました。これは今日すべてが終わってからですね、ちょっとデモンストレーションをさせてもらいます。

・続きまして25日。南郷中学校で情報モラルの授業があったので、視察に行きました。これは今SNSでですね、いろいろ問題になっている、いろんな性的なものを要求したりとか、そういうのに対して気をつけようということで、非常に南郷中の子供たち一生懸命話を聞いていました。

・それから9月27日ですけども、人事異動にかかる局長会。これは令和7年の4月1日の人事異動について、今年の基本方針とかの説明がありました。

・そして9月29日。日南文化フェスティバルということで、文化芸術協会の発表会ですね、行かせていただきました。やっとコロナも落ち着いてですね、参加団体も前の形になってきたみたいで、私が1つ感動というか感心したのは、渦上小学校のですね、6年生の女の子が1人で日本舞踊を踊ってですね。素晴らしいなと思ってですね、度胸があるなと思って、はい。感心しました。

・それから30日に校長会だったんですけども、最後に私が言わせてもらったのは、いよいよ人事異動にかかってくるので、しっかり先生たちの話を聞いて、先生たちが元気の出るような人事になるようにしてくれということでお願いしたところでした。

・10月1日、生涯学習課で異動がありました。2年半勤めた徳田さんというね、彼、新人で入ってきたんですけど、その人が税務課の方に移りまして、今度は同じく新規採用でこの人は社会人採用なんですけど、田村さんという人が生涯学習課に入ってこの辞令交付をさせていただきました。

・それから10月2日、スポーツ協会の表彰式がありまして、6名ほど表彰されました。ちょっとそれに行かせてもらったんですけども、1人中学生がおりまして、飢肥中学校の子で、800メートルとかで非常に優秀な成績を上げた、その子が表彰されました。

・10月3日はですね、日南学園で給食の試食会。これ鯨ですね。鯨をちょっと料理してもらって食べて新聞に載ったんですけど、カレーと酢豚風に作ってもらって食べたんですけど、なぜか宮日の記者が私にインタビューしてきまして、どうしますかみたいな。給食に入れますかと。なかなかはっきり言えんからですね。やっぱり値は張るんですけど、話によると少し補助もあるみたいなかんじで、今後の1つの材料としてですね、考えていくこともできるのかなというふうな感じですね。

・それから10月3日。このフロッグスっていうのは子供たち、中高生をですね、いろいろ集めて、自分たちでこう考えて自分たちで行動するっていうようなことをやって

いる人たちで、日南にも1つ拠点を構えて来てくれて、なんか小中学生にお手伝いできすかっていうことで話をして帰ってくれました。うちはわかすぎ塾とかやっていますので、今後は何かうまくコラボレーションできないかなっていうふうに感じているところです。

・続いて10月3日ですね。この日の午後ですけど、単独訪問で吾田中に行きました。また委員の皆さん、お話お願いします。

・10月5日、戦没者追悼式。8月の予定だったんですけども、例の地震でこの日まで延びました。いつも通り多くの方がお見えになったんですけども、毎年中学生が誓いの言葉を言うってくれるんですけども、今年も飢肥中学校の川越君って子でしたかね。非常にやっぱり良い言葉を言うてくれて、素晴らしいんですよ、全然噛まないしですね。文章もしっかりしてるし、やっぱりすごいなあと思って、何か最後にそれをしてくれるんですよ。献花する前に。何かぴしっと締まっていいなと思ってですね、若者が。いつも感心します。

・それから10月10日にですね、県内9つ市があるんですけども、社会教育関係の課長さん方が見えて、いろいろな各市の抱える課題とかそういうのを出しながら意見交換をしました。昼はですね。私は夜だけ出させてもらったんですけど、もう夜の意見交換もですね、この生涯学習関係は何かにぎやかなんですよ。やっぱりいろんな人とやるからですかね。もうそういう夜の意見交換が非常に弾んで、もう来年のことをまたしっかりやりましょうみたいな形でですね。良い形で終わりました。

・続いて10月10日が単独訪問で、榎原小学校に行かせてもらいました。またこちらも皆さんお願いします。

・10月15日、義務教育課が来たんですけども、これは来年の4月以降の取り組みをですね、ちょっと前出ししておきたいということで、話がありました。そして榎原中学校に行かしてもらったということですね。

・10月19日、飢肥城下祭りの日。那覇と犬山からまた姉妹都市の議員さん、市長さんお見えになったんですけども、いろいろ議員さんとかとも意見交流させていただいてですね、今年は犬山から子供たちが来ました。そして那覇とは、毎年少年野球少女バレーが交流してるってことで、もうお互いの市との交流もだんだん長くなってきてるんですけども、非常に打ち解けた会でした。

・それから10月21日、大堂津小学校の味覚の授業。これ南郷の安藤さん、駅前のお菓子屋さんなんですけどね、明月堂っていう。この方が非常に精力的にやっておられて、子供たちに鼻をつまんで食べるとなんか味がしないよね、だけど鼻を離すと味がするよねって。だから五味とかですね、五感とかそういう言葉を出しながら話をして、そして日本独特のうまみっていうのを引き出して、そしたらちゃんと子供たちがそのうまみとか言うわけですよ。非常に45分が短く感じるような授業でした。

・そして10月22日。宮崎県のGIGAスクール構想推進協議会ってこれあるんですけど、26市町村の教育長と教育行政関係者、学校の先生も今回呼んでですね、文部科学省の教育課程課長ってですね。次の学習指導要領をまとめているっていうかね。その仕事を担当してる人が来てくれたんですけども、次はやっぱりそのGIGAスクールとどう絡めて

いくか、今よくあるあれですよ。DX 化とかですね。そういうのが、結局その課長さんの頭の中にいろいろ構想があるわけじゃないですか。だからめったに聞けない話を聞かせてもらったんですけど、その中でやっぱり印象に残ったのは、結局やっぱりタブレットとかは、先生がしっかり指導しなきゃ駄目なんだということを言われるわけです。佐藤委員がおっしゃるように、危ない一面もやっぱりあるんだ。大学の先生の話をしていろいろ出してくれたんですけど、やっぱりそれぞれ言っておられるわけですね。だから、うまく子供たちにそれをやってきて、日本は例えばたくさんタブレットを触ってるけれども、その人が北海道の教育委員会出向の時にこういういろいろ調べたら、結局ゲームとか動画をたくさんやってるわけですよ。そういうのを制御していくこととかですね。あとはタブレットっていうのはあくまで手段であって、目的ではない。でも手段って言いながらもやっぱり慣れさせるまではどんどんどんどん使わせないと。その手段としてうまく使えないっていうことをやっぱり言っておられるみたいで。だからうちの場合は、3 年ちょっと早めに始めてですよ。各学校研究でいろいろアンケートをとると、割と使いこなせてる感じも多くて、次の段階も入りやすいのかなって。だから今回のこういう話なんかも、しっかり学校を通して、校長を通して、先生方に話が通ればなと思ったところでした。

・そして 23 日に公共交通機関利用友の会総会が予定されてたんですが、前日の雨の関係で中止になりました。ありませんでした。22 日の雨は大変だったんですけども、全体でいろいろ被害のあったところはなかったですね。学校でいえば結構雨漏りがやっぱり多くて、ちょうど帰る時間だったので、迎えに来させましたとか、ちょっと待機させてますっていうのがありましたけれども、そういう点でも事故はなかったです。翌日は 1 つの中学校だけちょっと通学路に土砂災害の危険区域があるから、先生たちが様子見てからの登校だってことで、10 時ぐらいに登校ってのはありました。

・あと 23 日昨日ですけども、税に関する絵はがきコンクールがあつてですね。教育長賞を吾田小学校の男の子が取りまして、表彰に行つて参りました。

・そして今行つて参りました文化財視察ということで、またこちらの方も感想をお聞かせください。

(2) 委員活動報告

【別府委員】

10 月 1 日にコープ宮崎の日南店の方で、社会福祉協議会主催の街頭募金。こちらに参加させていただきました。お店に入られる方や送迎のタクシーのドライバーさんたちもですね、多くの方からご協力をいただいたところです。

続きまして 10 月 10 日に榎原小学校、そして 10 月 15 日に榎原中学校の単独訪問に行つてきました。両校ともに言えることなんですけれども、やっぱり現在の状況を伺ったりあと授業内容を拝見させてもらったんですけども、やっぱり少人数校の良さでもある。一人ひとりに向き合った環境が整えられてるなと感じました。

また榎原地区で行われてる夢広場の七夕まつりですね。イベントに関しては、本当に地域と学校と家庭の関係を構築する上で、本当にとてもいいモデルだと思ったんですね。このような取り組みをこれから日南市全体で広げていくと、もっともっと魅力のある街になっていくんじゃないかなと感じたところです。

そして先ほど文化視察に行かせていただきました。飫肥の城下町の歴史はそこまで深く知ることは今までなかったんで、本当に学びになったところでもあるんですけども、これまた日南市の子供たちにはぜひですね、遠足とか何かのプログラムに入れてもらえるとまた郷土愛っていうのがすごく深まるんじゃないかなと思ったところです。また自分も時間がある時にゆっくりと見させていただこうと思います。今だと案内できますんで。

【佐藤委員】

私も 10 月 10 日ですかね。榎原小の方に行かせていただきました。環境的にもすごく良くて、例えば地域の方との繋がりががですね、伝統的に強いということで。子供たちを中心に、なんかこう応援する大人たちがいるっていう良さ、やっぱこれで大人もいろんなことをまた学ぶことができるし、豊かなまちが維持されるんだなと。そういう意味でも学校の存在というのはですね、小さくなくてもやっぱり大きいなというのは思いました。ただそういう何かのんびりした感じの自然がいっぱいあるんですけど、子供たちの遊びってのはやっぱりゲームとか、SNS が浸透してるということで、先ほど教育長も言われましたけど、モラルの面もそうですけど、やっぱり依存があるっていうことですね。それを手放せなくなる危険性もあるということをやっぱり、また伝えていけるといいかなと思ったところです。

それからあと 22 日の大雨ですけど、うちの幼稚園も本当ヒヤヒヤしてですよ。これ後からいろんな保護者の方からお話聞くと、やっぱり非常に難しい問題なんですけど、どの時点でもう下校を促すとかですね。或いは下校に待ったをかけた学校もあったということで、それはそれで一番その水位が上がってるときにですね、迎えに来てくれってのはまた危険な行為なんですけど。これがまたずっと雨が止んだから良かったですけどね、夕方降り続いたらまたどうなったかなっていうこともあって、非常に難しい判断を。情報がどんなふうに取りれるかっていうところですね、私もだからうちの幼稚園の方でも 3 時に一応迎えをお願いしますというお知らせを出すときに、こども課とか電話したんですけど、特にまだ動きがないということで、多分それぞれの施設が、学校はまだあれかもしれないですけど、幼稚園なんかも多分それぞれの施設が情報として、それぞれで判断してどうしよう、どうしようで。仲の良い園とかはどうするっていう話は出るんですけど。この辺が何かですね、地震の時もそうなんですけど、なんか子供を預かる施設同士での兄弟関係もあるからですよ、そう。幼稚園に迎えに行ったけど、小学校行ったらまだ帰しませんとか。それはないのかもしれないけど、いや何で迎えに来たんですかとか。中学校行ったら、今待機だから来ないでとか。ちょっとその辺がこうなってしまうとですね、保護者の方も非

常に困るということなんで、特にいつ線状降水帯が出るかもわからない状況で判断は非常に難しいんですけど、何かしらそのそういった情報を、ここでみんなで拠り所とする情報発信源を入れるとか、なんですかね、なんかこう手だてができるとありがたいなあと。基本はやっぱりできるだけ施設に残さない。津波とかはしょうがないと思うんですよ。津波が来るという時に帰すってのはできないと思うんですけど、やっぱ大雨になりそうだなっていう時はもう早め早めに帰すとかですね。何かその辺を共通理解できてるといいのかなというのは非常に考えた感じですね。何が一番良いのか。命に関わるからですね、膝まで浸かって子供をおんぶしてですよ、迎えに行きましたとか話を聞くとですね、うわ危なかったですねってやっぱりなるんで。

あと今日の視察も本当に勉強になりましたね。ちょっと気になったのが、その説明のところにですね、英文とかハングルとかがあまりないなっていうのが。これだけクルーズ船が来るのにですよ。大きなコーナーの表示とかにはあって、最初見た動画というか、あれにはちゃんと英文も出てたんですけど、途中途中のその刀のストーリーで面白い話とかのところはもう全部日本語だったので。それを英文にするってのはなかなか大変なんですよ、点字の問題もスペースの問題もあるんでしょうけど。外国からクルーズ船でたくさん見えてますので、ちょっと惜しいなと思いました。

【八木委員】

私の方は3日に吾田中学校。それから15日には榎原中学校に行かせていただきました。吾田はやっぱり大きい学校ですので、私たちの子供が入ったころと違ってもうSNSの問題とかももう全然昔と違うというお話聞いて、本当先生たち大変だなと思ったんですけど、みんな先生たちがタッグを組んで、本当チームでいろんなことを考えてやってらっしゃるっていうのはすごいなと思いました。

それから榎原中はもう逆に、本当にさっき話が出たようにもうアットホームな静かな学校ですごく良いなと。10年くらい前かな、行かせてもらった時は小学校と中学校のちょうど連携始まったところで、いやもう小学校と中学校なかなか連携できないんですよみたいなお話があったんですけど、もう今はしっかり連携ができて、やっぱり時間をかけて小中学校の連携されてきて、もう本当に大切なんだろうなと。それができるっていう環境で、また子供たちが伸び伸びと。中学校の先生が小学校で教えるのを、小学校の子供たちが待ってるとかですね。そういう感じのお話聞いたので、やはりそこでもやっぱり連携というのは大事なんじゃないかなと思いました。

さっきの大雨の話ですけど、私孫と一緒に飢肥にいたんですよ。わりと小学校に保護者の先生とかいるんですけど、やっぱりその避難っていうのは、あれなんですね。学校から連絡が来たら、幼稚園で始めるんですよ。っていうのが兄弟がいるので、だから学校っていう基準のところが何も言っていないから大丈夫かなみたいな感じで捉えていらっしやったので、やっぱりある程度の発信ってのは必要なのかなと私も感じました。早く帰っていいよって4時に帰った時、もう本当に車を泳がせて、もうどうなるかなとか。で、ひ

やひやしなからですね、ちょっと流されながら、こう運転して帰ってきて、着いた時はもう車の音はギーギーですよ。もうそんななか帰ってきたんですよ、もう孫がいるからとにかく帰ろうと思ってですね。そういう状態、一番激しい時に私は行ったんです。ピークの時ですね。もうなんか行けなかったり止まったりで、帰り着いたのは5時ごろだと思うんですけど、多分4時ぐらいに連絡が入って、学校からですね。それで幼稚園も動いたという感じだったので、なんかその辺やっぱり市で判断した方がいいですかね。各学校よりも。

【佐藤委員】

幼稚園もバラバラだと思うんですけども、小学校を待ってたらいつになるかわからないということで先に出しましたね。

【八木委員】

やっぱり兄弟がいるので、どうしてもですね。その辺の判断すごい難しいなと本当感じました。かと思ったらもう飢肥小学校はもう集団で帰ったりしていたんですけど、もう集団で帰ってる、じゃあうちもかなと思ったらあれ帰って来ないとかですね。そこもリアルに聞いていたので。もう集団下校じゃなくてジャブジャブ帰ったという話も聞きましたね。子どもたちも自由に帰ってきたけど、もう長靴もぐちゃぐちゃになって帰ってきたみたいな話も聞いたので、ちょっとやっぱり危なかったのかなと思うんですけど。

【黒木委員】

私は9月24日にAIドリルのプロポーザルに参加させていただきました。これも多分後でみんなで見るということなので、見ていただければわかると思うんですけど、本当に先生たちの働き方が変わるなっていうのを感じて、その子供たちも本当にAIは使い方だになっていうのを感じました。苦手なところと得意なところがそれぞれこう、苦手なところが克服できて得意なことが伸ばせる。それをもうAIがこうやってくれるみたいなのところもあったので、すごく見て面白いなと思う時間でした。

あと3日、10月3日に単独訪問で吾田中学校に行ってきて、この日鯉飯をいただきました。おなかいっぱいの中話をいろいろ聞かせていただいて、本当にSNSの問題がもう年々こう変わってきていて先生方の対応も、どこまでがこう先生たちが対応できるのか。本当に警察案件、先生たちがどこまでそのカバーはできるっていうか子供たち、保護者を助けられるのかとか、そこに使う先生たちの労力も相当なもので、そういったところももう保護者も合わせて、そういった教育っていうモラル教育っていうのは本当にもっと幼稚園とか、もう本当に妊娠して病院とかそういった妊婦さん教室みたいなのことから、もうこれから学校でもそういった教材使っていくので、親がちゃんと知っていないといけないこととかも、もう1からそういったところを教育していく必要があるなっていうのを感じました。

あとは不登校児のこともやっぱり、これ以上増やさないっていうところを先生たち一

生懸命されていて、いろんな時代の居場所っていうのもあるんだろうけど、やっぱり学校が子供にとって居やすい場所であるといいなっていうふうに、先生たちの努力を見ながら感じた学校訪問でした。

今日の視察は、こういった視察に行くたびに歴史が楽しくて、何か日南のことをもっと深掘りすればいろんなことが出てくるんだなとか場所とか物語とかが面白いなと思いながら、これ子供たちがまたね遠足だったり、総合的な授業の中とかで知る機会があって、もっと郷土愛に結びつくといいなっていうふうに思いました。とてもこう、ガイドがつくと時間を忘れてしまう楽しい時間でした。ありがとうございました。

【都甲教育長】

今、雨のことが出たんですけど、22日はやっぱり学校からいろいろ事前に相談があったケースもあったんですか。

【藤岡担当監】

相談ではなくて、こうしますっていう報告がありました。

【都甲教育長】

やっぱりちょこちょこさっきから出てますけど、その場所によってまた違う場合もあったりですね。その通学路の様子とかもあって、本当タイミングが難しいと思います。ただし、今は割と雨の情報とかがスマホ1台で見れたりなんかするから、予想もつくこともあるんですよ。例えば何分後には上がりますとかですよ。それは結局保護者も見てるから。このタイミングかなとかですね、今激しいからちょっと連絡来ないだろうなっていう話になるし、こういうことを積み重ねながら、例えば各学校でこの前こういう大雨がありましたけども、次はこうしていきましょうかみたいな形ですよ。まずPTAの役員とそうね、振り返ってもらって、そして方針をこう下ろしていくと、いろんなことに対応できるのかなと思って。うん。やっぱりね、命に関わることなので。もう難しい面も本当あるからですよ。そこら辺は親御さんの気持ちも汲みながら、どれが一番いいのかって考えていかんといかんですよ。

【佐藤委員】

このタイミングってやっぱり学校、幼稚園が言うのは難しいなと思うんですよ。本当家、職場の周りの状況も違うし、それぞれが本当仰るように情報持ってるからですね、結構ね。うん。スマホやらですね。だからそのタイミングはやっぱ保護者に任せないと、こっちが今は待機だから、来ないでくださいとか流した学校もあったらしいんですけど、それだとまた余計え、って。じゃあもう全部学校側の判断で責任ということになるじゃないですか。それはやっぱり非常に難しい、危険だと思ったんで。

【都甲教育長】

親として、保護者としてはもうたまらんわけですよ。早く連れて帰りたいっていう。そこを止めるのは難しいと思うわけですよ。言い方としては、その今来られてもなかなかね、親御さんも危ないでしょうし、混乱しますから、もうちょっと待ってくれませんか。それを理由もなく、待ってくれじゃなかなか納得してもらえんと思いますよね。また考えてみます。

1つ地震のことで、やっぱり避難訓練で、各学校、市内から全部の学校と一緒に情報交換の練習をしようと、いうふうなこともやってますので、こういう危険なところについては同じような形で応用していければなと思います。

9 前回の議事録承認

第7回の議事録について了承

10 研修

「日南市の学力について」 緒方指導主事説明

【都甲教育長】

皆さんに行ってもらう単独訪問とは違って、支援訪問っていうのを半分の学校行ってるんですよ。それを交互に行ってるわけですよ。それは教育事務所とうちが一緒に行かせてもらって、今言ったみたいなことをしっかり浸透させていくためにやってるわけですね。場合によってはピンポイントでこの先生たちにこう、授業を見てやるとか。あとはもう全体的にやっていくとかいうのやってるんですけど。子供という相手がいることなので、なかなかすぐすぐ変わっていくわけじゃないわけですよ。ただ、同じやっぱり方向を向いてやるってことが大事なので、これはもう県でももちろん、こういうふうに謳ってますし、今度はうちのうちでやっぱりうちのそういう方針のもとにやってるわけなので、粘り強くやるということですかね。緒方指導主事は、その支援訪問で学校に行って、どういう手ごたえを感じていますか。それを最後に言って終わりに、はい。

【緒方指導主事】

支援訪問だけでなくてもいろんな先生の授業を見せてもらっていて、やっぱりごく工夫してるなっていう授業が特にあって、僕が一番感動したって言ったあれですけど、「一人一人が問いを持ち」というところがあったと思うんですけど、それが今までだったら授業の最初で、今日の勉強はこんなことするよっていうところからスタートしていた授業だったと思うんですけども、でもとある数学の先生の授業で、授業の最初にどうやってそれをするのかなあと思って見ていたら、問題をいきなりバーンと見せて、こ

れについてどう思うかっていうのをパソコン、タブレット使ってばーんと出させて、じゃあそうしようってそれでめあてをボーンと立てた授業があったので、もうまさに子供たちが学びたい授業になったんじゃないのかなというふうに感じております。その授業がすべてではないんですけども、そういう授業とかが増えてくると良いなというふうに今考えているところです。

1 1 報告について

報告 1 市議会定例会報告（9月議会）について

(鬼東部長)	すみません。その前にちょっとさっきの被害の報告をさせていただきます。市役所のホームページに掲載されてますけども、先ほど申し上げましたが、避難者については59世帯の79名が最大の数となっています。被害の状況は先ほど床上が17と言いましたけども、床下が75。それとですね、店舗関係ですね、非住家の被害が37で、そっちの方が床上が23、床下が12となっています。公共施設関係は私道がですね、やはり33路線。ちょっと被害を受けてまして、そのうち7路線が通行止め。林道が4路線被害を受けているようです。あと猪崎鼻の公園がですね、キャンプ場までの道が一部崩れてるとかいったところがあったようです。主な被害状況としては以上です。続きまして9月議会の報告の方させていただきます。
(佐藤委員)	市議会定例会報告（9月議会）について説明 北山議員のところで答えられている特別支援学級は平成26年が35で39に増えてて、在籍者数は変わってないというのはこれは、どう考えたらいいんですかね。
(鬼東部長)	あくまでも年によって、その当然上限はありますけども、たまたま今回のやつは偶然イコールになってるんだってことです。生徒数も減ってますからそうですね。ただ支援としてはですね。ただ、特別支援学級割合自体はちょっと増えている。児童生徒数は減ってるので、総体数は減ってはいるけども、割合はちょっと若干ずつ増えているというふうに考えていただければいいと思います。
(佐藤委員)	ありがとうございます。
(別府委員)	私も1つだけ良いですか。やっぱり北山議員のところで、南郷

(鬼東部長)	小中学校のプール清掃の民間委託。ここですごく働き方改革になっているので、波及すればいいなと思うんですけど、これから増やしていく方向なんでしょうか。 南郷小中学校は、南郷小学校と中学校に関してはですね、どうしてもプールにちょっぴり過機がなくてですね。どうしてもこの2つについてはそういったところの問題点もあるものですから、今回そういったこともありまして、ちょっとその先生たちの負担軽減ということで、最初の掃除についてはもう専門業者と業者に頼んだということになります。
(別府委員) (都甲教育長)	ろ過機がないんですね、分かりました。 今まで先生たちとか子供たちがプール掃除をしてたんですよ。すぐにろ過機もつけられないので、まずはそういう負担軽減ということです。

1 2 議事について

議事 1 他市町村教育委員会との意見交換会について

(武田主任主事) (都甲教育長)	他市町村教育委員会との意見交換会について説明。 皆様のご希望通り、高千穂に行きます。一昨日、教育長と会いましたので、よろしくお願いしますったら苦笑いをしていました。教育長のところとは何か縁がある人が多いみたいですって言ったら、はははと言っていました。よろしくお願いします。また細かい日程とかお知らせします。それから先ほど向こうとの意見交換したいテーマについて決まっていると言いましたけども、また何かあれば次回でも出していただければ、事前に向こうに伝えますので、お願いします。
--------------------------------	---

議事 2 他課との意見交換会について

(武田主任主事) (都甲教育長)	他課との意見交換会について説明。 他の課との意見交換会。これ初めての取り組みなので、ちょっ
--------------------------------	---

(八木委員) (都甲教育長) (八木委員) (都甲教育長)	と準備が必要なんです。だからもう出していただいて、こっ ちで決めて、早い段階で相手の課に、やっぱりアプローチをしたい ものですから、お願いします。 それから定例教育委員会の中から外したっていうのは、中にす ると少しもったいないですよ、時間が短くなって。せっかくな ので、もう外に出して申し訳ないんですけど、1 時間はやっぱり 最低でもいただいて、お話をね。意見交換できるかなと思いま した。だから、1 時半から 5 時までっていう。頭がパンパンにな らないかという感じなんですけども、そこら辺はまたよろしくお願 いします。もうどういう分野でもですね、やっぱりこう考えてい ただいてからですね、お願いします。 それじゃあ毎年これからやるんですか。 やってみて良ければどんどんやりたいですね。 最初は 1 つの課ですよ。 そうですね。やっぱり 2 つも 3 つあってもなかなか大変なの で、1 つの課に絞って、うん。相手もびっくりすると思うんです けど、教育委員会が挑んできたってですね。挑んでっていうのは おかしいですけどね、はい。お願いします。
--	--

議事 3 日南市教育振興基本計画について

(藤岡担当監) (都甲教育長)	日南市教育振興基本計画について説明。 またじっくり見ていただいて、よろしくお願いします。
----------------------------	---

1 3 その他

(1) 11 月行事予定について

(2) 令和 6 年度宮崎県市町村教育委員会連合会研究大会

- ① 日時 令和 6 年 10 月 25 日（金）午後 13 時 30 分から
- ② 場所 宮崎県教育情報研修センター

(3) 第 9 回 教育委員会会議（定例）

- ① 日時 令和 6 年 11 月 21 日（金）午後 3 時から
- ② 場所 日南市役所・別館 2 階会議室 5

(4) その他

【別府委員】

まず9ページのさっきの日程のところで、私のちょっと仕事の都合上で佐藤委員と変更させていただいたのが、1日金曜日の吾田小学校。ここは私となっていたんですけど佐藤委員にちょっと代わってもらいましたので、佐藤委員と八木委員でということと、あと18日の月曜日、油津中学校。ここに私が入らせていただきますんで、八木委員と私ってということで変更お願いしますっていうのがまず1つ。

そしてこれちょっとごめんなさい。もう議事録に書かなくていいんですけど、僕からのお願いとあと図書館の甲斐さんからのお願いでもあるんですけども、絵本で「給食番長」って知ってますか。給食番長っていう、もう多分小学校で全部入ってるんですけど、子供たちに人気のその給食番長で、今回東郷小中学校の読み聞かせ実行委員会がこれを日南弁にして作ったっていうのもあって、今日南市図書館の方から来年の図書館まつりで作者のよしながこうたくさんと呼んで大々的にちょっとやりたいということで今何か要望してるみたいでして、実はその前にちょっとたまたま福岡の飲み会でこの作家さんとお会いする機会があって、いろいろ話したらやっぱり子供たちの出張イベントみたいな形でやることで結構盛り上がりもあって、結構それで読書に興味を持って読書離れがまた改善されたという話もちょっと伺ったんで、ぜひですね、ちょっとこれもう来年の図書館まつりでこの作家さんと呼んでいただいて、大いに盛り上げていただけるとすごく嬉しいなっていうところでもあるんで、ぜひ前向きにご検討いただければということで、よろしくお願いします。

【重永課長】

はい、素晴らしいご提案をありがとうございました。

【別府委員】

それをまた甲斐さんからもぜひぜひ伝えておいてくださいということだったんで。

【都甲教育長】

この方は図書館まつりもそうですけど、うちがやる例えば教育講演会。こういうの講師なんかどうですか。

【別府委員】

ああ、そんな感じでも、そうですね。

【都甲教育長】

まずは来年、例えば図書館まつりに来ていただいて、様子を見させていただいて、やっぱりね。もっとみんなに聞いてもらおうというのもあるので。

【別府委員】

ぜひそれは。喜んでいただけたと思いますので。

【都甲教育長】

そういう方に来てもらうのも大事だなと。よろしくお願いします。

【重永課長】

PR というか、先ほどの行事予定の方でもですね、ありましたように、総合文化祭がですね、まず作品展が 10 月 27 日から 11 月 4 日。まなびピアと北郷ふれあい交流センターで、こちらの絵画でありますとか、写真でありますとか陶器でありますとか様々な作品が提示されておりますので、お時間ご都合つけばですね、ぜひ覗いていただけたとありがたいと思います。そして総合文化祭の方はですね、演劇発表の分がですね、11 月の 3 日が文化センターでフラダンス等の披露をされるようになっております。そして 11 月 16 日から図書館まつり。11 月 17 日のつわぶきハーフマラソン大会はですね、昨年より多い約 1840 人ほどエントリーがあったということですね。結構見応えがあるのではないかと思いますので、ご声援をお願いしたいと思っております。

あともう 1 つ、ぐっさんのハッピーオンステージ。12 月 21 日にございまして、約 790 席ほどあるんですけどそのうち、370 席売れていてですね。まだまだ余裕がございまして、ぜひ興味があった方はですね、お願いしたいと思います。まさにですね、今スポーツの秋であり読書の秋、芸術の秋であるというふうに生涯学習課の方で行事が目白押しでございましてけれども、もし興味等あればですね、ぜひ足をお運びいただけたら大変嬉しく思っております。以上 PR でございました。

1 4 閉会